

調査・研修等計画届出書

令和7年11月4日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会	
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	11月11日（火）14:00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 11月12日（水）10:30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	・小澤 勝・宮蘭 伸仁・富田 宗一・山内 誠一郎 ・高島 淳・朝井 賢次・黒柳 知世	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 1 2 月 1 0 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 7 年 1 1 月 1 1 日から 1 1 月 1 2 日まで（1 泊 2 日）
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町 2－2－1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	1 1 月 1 1 日（火）14：00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道 1 5 5 号）の進捗状況について 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 1 1 月 1 2 日（水）10：30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察

調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等

【国土交通省】

○国直轄事業としての都市計画道路および国道155号線（記念橋上之山線）の進捗状況について

【厚生労働省】

○公立病院の全国的な経営状況について

○公立病院経営について今後の国の考え方と方針について

【文部科学省】

○学校給食調理施設更新についての国の考え方および補助のあり方について

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

●国土交通省（11月11日）

・同省の内田豪士道路局国道・技術課長補佐を講師に、都市計画道路および国道155号（記念橋上之山線）の進捗状況について現状を確認

国の直轄事業として整備が進められている国道155号線（記念橋上之山線）は、山口歩道事業の完成に続き、それより北側に続く記念橋上之山線の整備促進が求められている。同線周辺地域は路線沿線の開発も市は進めており、将来に向けこの路線の拡幅を含む整備、市道との結節をどのようにしたら良いのかについて見解を伺った。国としても同線の整備は必須であり、早急に着手すべきと考えているとのことで、市道との結節については利便性の向上、安全性の確保などを総合的に判断し優先順位をつけながら進めるのがベターではないかとのことであった。今後、市の幹部はじめ担当部署が積極的に動き、国との折衝、すり合わせを行うべき。たとえば、現在進行中の祖母懐小跡地開発をより有効なものとし、まちの価値を上げ、さらには安全なまちづくりにも資する整備は優先度も高いものとする。

●厚生労働省（国土交通省引き続き）

・同省桑原寛医政局医療経営支援課医療法人支援室長、総務省自治財政局準公営企業室課長補佐より「公立病院の全国的な経営状況について」「公立病院経営における今後の国の考え方と方針について」説明を受けた。

全国の公立病院はこれまでも再編やネットワーク化、経営態勢の見直しなどさまざまな改革に着手してきたが、依然としてその厳しさは続いているとのこと。そ

の要因は「人口減少、少子高齢化にともなう医療需要の変化」「医師・看護師の不足」「医師の時間外労働規制への対応」「振興感染症への備え」などが経営の足枷となっている。

瀬戸市陶生病院においては、地域になくってはならない急性期病院であり、多くの市民から頼られている。しかしながら救急医療、小児医療、周産期医療などの不採算部門を抱えるという宿命を負っている。

総務省では公立病院経営強化ガイドラインを策定し、各病院に対し経営強化プランの策定を指示、令和7年8月時点ではほぼ100%の病院が策定している。陶生病院も当然策定し、経営の建て直しを図っているが成果には乏しい状況となっている。今後は陶生病院一部事務組合を構成する3市（瀬戸・尾張旭・長久手）からの負担金、令和8年6月に予定されている診療報酬改定において活路を見出さねばならないが、やはり絶対に存続が求められる病院の保全には国の補助も欠かせないことを申し入れた。

●文部科学省（11月12日）

瀬戸市の抱える大きな課題のひとつとなっている「学校給食調理施設更新」について、同省の大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課執行係長、総合教育政策局教育・食育課 学校給食・食育係長よりレクチャーを受ける。

学校給食施設整備事業について、同省では児童生徒の健全な食生活を担保し、食育全般の推進を図るため、また衛生水準の向上や省エネルギー化についても併せて支援するため、これらに対する改修・新設補助を行っているとのこと。補助率は新設事業においては2分の1、改築・改修事業は3分の1としている。

また、昨今は衛生上の観点からドライシステムの導入が定番となっており、同省も新設の際はこのシステム導入を推奨しており、計画段階で導入の検討をするべきとしている。

本市においては給食センター（水野）および各単独校（新設のにじの丘学園除く）とも老朽化が進み、職員の暑さ対策も大きな課題となっている。おそらくセンターの建替え新設は必須と考えられる。今後計画が遅くなればそれだけ費用も嵩むことが懸念される中、一刻も早い検討と実行が求められる。

【追記】

給食センター新設にあたっては、民間活力の導入も考えられ、学校給食調理以外の空いた時間に民間業者がその設備を利用し弁当などを作り、販売する。当然施設利用に当たっては有料とし、市の収入源とする、瀬戸市の担当者らは「そのようなことは不可能」とするが、同省からは新潟県見附市の事例を紹介され、会派として今後視察を行う予定である。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 11 月 11 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	330	円		円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km	6,600	円		円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	4,920	円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	アパホテル小伝馬町駅前				0570-042-411		15,396 円			
備考欄										

27,246 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 11 月 12 日	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km	6,600	円	4,920	円
	名古屋	JR	片道	高蔵寺	24	km		円		円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	330	円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 11,850 円

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

15,396 円

23,700 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

39,096 円